「ＣＡＴＹ」の名前は、「ＣＡｍｐｕｓ」と「ｃｉＴＹ」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。「地域との共生　社会に学ぶ」を合いことばに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。

http://www.kokugakuin-jc.ac.jp

News CATY（ニュース　キャティ）

２０２１年11月　第142号

発行／國學院大學
北海道短期大学部
滝川市文京町３－１－１
TEL0125-23-4111　FAX0125-23-5590
編集事務局長　矢口元晴

グルメイベント大盛況
舛井ゼミビジネス事業部　地元店ＰＲに一役

10月29、30日の両日、本学駐輪場にて、舛井ゼミのビジネス事業部が主催した滝川グルメフェスを行いました。この滝川グルメフェスは、多くの学生や地域の皆様に滝川のお店を知ってもらい、実際に参加店舗に足を運んでもらうことを目的としています。

この日のイベントでは、滝川市内の飲食店7店舗の参加があり、商品を提供して頂き販売しました。また、舛井ゼミが交流している三重県伊勢市にある皇學館大学・地域社会研究会の和紅茶を販売するとともに、山形県名物の玉こんにゃくとビジネス事業部オリジナルの焼きそばを作って販売しました。また、滝川市内のビーベリーさんからはビジネス事業部用に「Ｍゼミブレンドコーヒー」をつくって頂きました。

２日間を通して、多くの地域の方や本学の学生にお越しいただき、ほとんどの商品を完売することができました。

実際に滝川グルメフェスを行ってみて、ビジネス事業部内での連携がうまく取れていなかったなど多くの課題が見つかりましたが、それ以上にイベントを運営することの楽しさを感じることができました。今回のグルメフェスで見つかった課題はこれから予定している学生カフェなどのイベントで改善できるように全員で話し合っていきたいと思います。

また、今回の滝川グルメフェスに参加していただいたお店で使えるクーポンを発行する予定なので、滝川グルメフェスを通して滝川の飲食店をもっといろんな人に知ってもらえるようにしていきたいと思います。（総合教養学科１年／山本凜佳）

図書館ワークスタディ
「列島四十七誌」開催中

図書館ワークスタディは、現在1年生3名、2年生1名の計4名で活動しています。

活動内容は主に本の貸出や返却などの窓口業務、新着図書や雑誌の受け入れ、ウェルカムボードの記入、ポップの作成、企画展示、イベントの企画・運営などです。ウェルカムボードには、担当者がその日に書きたいことを自由に書いています。企画展示では月毎に担当者を決め、各テーマに沿った本を展示しています。ポップやウェルカムボード、企画展示には、ワークスタディそれぞれの個性が出ています。

現在は後期イベント企画として、「列島四十七誌～津々浦々、本で巡る日本の旅～」を行っています。様々な本との出会いや新たな発見を目的として、学生や教職員の方からアンケートで出身地や住んだことのある都道府県に関する本を集めて日本地図を作るという企画です。現在50件以上の参加によって様々な本が集まっており、教職員の方々には一言エピソードも添えていただいています。私は宮城県登米市出身なので、同じ出身地の有名な漫画家である石ノ森章太郎さんに関する「石ノ森章太郎の物語」を選びました。彼の代表作には「サイボーグ009」や「仮面ライダー」などがあり、この本では彼が自身を登場させたエピソードが集められています。

完成した地図は11月15日から2月28日まで図書館内に展示しております。沢山の方のご来館をお待ちしております。（総合教養学科2年・図書館ワークスタディ／金澤葉月）

今野道裕先生にインタビュー
手づくり絵本の製作も
人形劇の楽しさを広げたい

○授業の主な内容について

写真は、2年生の「総合表現Ⅱ」の授業風景です。音楽表現や造形表現を総合的に生かす「演劇的活動」を主な授業内容にしています。例年だと「音楽劇」を制作していたようですが、コロナ禍のため、今年度はメインを「影絵」とし録画したものを届ける計画になっています。

影絵は光と影が織りなす演劇的芸術です。今はあまり見かけなくなっているかもしれませんが、スクリーンに映し出すとてもきれいです。現在、学生たちは2つの日本の昔話を影絵劇に仕上げようと奮闘中です。前任の名寄市立大学でも学生の演劇公演を指導・援助していましたので、コロナが収まったら、より演劇的な活動にして保育施設等での公演も再開してみたいと思います。

○「オホーツク風雲ワクワク団t」について

高校時代から人形劇に魅了され、現在も「ひとり人形劇団」として活動しています。4月から滝川在住なので、末尾に「t」をつけています。1人なのでいつでもどこにでも行けるのが強みです。先日も根室市図書館に招かれ、人形劇と工作講座を行ってきました。NPO北海道人形劇協会の副理事長もしており、北海道のさまざまなところで人形劇フェスティバルを開催しています。今後も人形劇の楽しさを広げたいと思っています。

○オープンカレッジ講座「世界に1つだけの手づくり絵本を作ろう」

人形劇は観てくれる方々がいてこそなので、今までも地域での文化活動に参加したり、自ら主催したりしてきました。その度に教育の分野だけでは知り得ないだろう方々との出会いに刺激を受け、学んできました。オープンカレッジ講座の話を頂いたときも、即断で「手づくり絵本」の講座を引き受けました。私自身手づくり絵本の制作はもう40冊を超えています。自分の思い出や子ども・孫との思い出が絵本となって残るのは格別の楽しさです。

【プロフィール】今野道裕（幼児・児童教育学科教授）　小学校教員28年、名寄市立大学15年勤務後、今年4月本学着任。専門分野は人形劇やおもちゃ・遊びなど「児童文化」。担当授業は、「子どもの造形」「保育内容・言葉」「総合表現」等。

箱根駅伝優勝に期待
國學院大學陸上競技部　滝川合宿の成果発揮を

滝川合宿での北竜町ロード練習

昭和初期に創部された國學院大學陸上競技部は、2001年箱根駅伝に初出場し、以来通算12回出場、5回のシード権のうち、現在3回連続のシード権を獲得、しかも96回大会は総合3位、2019年出雲駅伝で三大駅伝初優勝、今年の全日本大学駅伝では過去最高の6位を上回る4位と、駅伝強豪校と肩を並べて走り続けています。

選手を率いる平成の常勝軍団・駒澤大学陸上部のキャプテンとして活躍した前田康弘監督に、来年1月2、3日開催の第98回箱根駅伝優勝に向けての熱い決意をお伺いしました。

前田監督は「日頃より陸上競技部への多大なるご支援・ご声援をいただき誠にありがとうございます。総合優勝を目指し、結果という形で恩返しできるよう、選手とともに伝統ある箱根路を全力で駆け抜けたいと思います。今後とも熱いご声援よろしくお願いいたします」。

ぜひ、滝川合宿の成果を発揮してください!!

「煎茶部」が1泊2日で交流合宿
部員たちの絆深まる

こんにちは、煎茶部です。私たち煎茶部は2年生4人、1年生3人の計7人で、週2回顧問の小坂芳月先生のお宅でお稽古に取り組んでいます。

10月16、17日の2日間、滝川ふれあいの里で、私たち部員のほか小坂先生、小坂先生の一般の生徒も参加し、交流合宿を行いました。お点前をする人と正客・次客・三客・四客の5人ずつに分かれて、それぞれお稽古を行いました。お点前はスムーズにでき、日々のお稽古の成果が出ていたのですが、一つ一つの動作を見るとまだ至らない点があり、成長を感じると同時に今後の課題を見つけることができました。

今回の合宿では、新型コロナウイルス感染対策のため、お茶を飲んだ後のお茶碗はウエットシートで拭き、ソーシャルディスタンスを保つなどを徹底しました。食事をする際にも同様に、黙食を心がけました。

私たち煎茶部は週2回お稽古がありますが、毎回全員が集まることは難しいです。また、現2年生が1年生の時には、新型コロナウイルスの感染が今よりも流行しており、活動自体が難しい状況にありました。そのため、お互いの事をよく知らない人がほとんどでしたが、今回このような合宿という機会があり、部員の仲が深まりました。また、一般の方たちとも交流することができ、良い合宿になったと思います。（国文学科2年／石川諒）

養蜂場でミツバチの生態学ぶ
ゼミナール学習の一環で

私たちは、児童教育コースのゼミナール学習の一環として、10月10日に深川市の今城養蜂場を訪問させていただき、ミツバチに関するお話を伺うとともに、巣箱や採蜜に使用する様々な用具を見せていただく機会を得ました。

元日本養蜂協会理事として日本の養蜂界に大きく貢献されてきた今城さんからは、経験に基づく貴重なお話を伺いました。特に、北海道庁の屋上に巣箱を設置したお話はとても興味深いものでした。話を伺う前は、都心でミツバチを飼育することは難しく採蜜は困難ではないかと思いましたが、北海道庁の半径5キロ圏内には北大や植物園、中島公園等があり、ニセアカシアを中心とする蜜源植物が豊富で、とても良質な蜂蜜を採取することができたと聞いて驚きました。

その後、実際に養蜂で使用している巣箱や燻煙器等も見せていただきました。どの道具もミツバチの生態に即した作りになっており工夫が凝らされていました。見せていただいた巣板にぎっしりと詰まった蜂蜜を指にとって味見させていただきましたが、ザラザラとした食感はあるものの自然な甘みですごく美味しく感じました。最後には、飼育されている蜜蜂を観察し、群の構成や針を持たない雄蜂の生態などを学ばせていただきました。

コロナ禍によって本来の予定とは異なる日程で受け入れてくださった今城さんへの感謝の気持ちを忘れず、今回の学びを最大限に活かして整理分析し、初等教育研究会に臨みたいと思います。（幼児・児童教育学科児童教育コース2年／白石大地）

ヘリ体験搭乗で自衛隊に理解
ＣＡＴＹのメンバー

10月9日、私たちは、陸上自衛隊滝川駐屯地で行われたヘリコプターの搭乗体験に参加しました。滝川市の自衛隊と、國學院大學北海道短期大学部は、地域の活性化に貢献する施設としてのつながりがあり、例年短大の職員がヘリコプターの搭乗体験に参加していたそうです。しかし、今年度はぜひ学生に、ということで、私たちＣＡＴＹメンバーが参加させていただきました。

ＣＡＴＹとは、本学のＦＭラジオの団体で、現在、2年生が5名、1年生が3名所属しています。ヘリコプターの搭乗体験にはそのうち3名の学生が参加しました。

ヘリコプターに乗るのは初めてのことだったので、最初は少し不安もありましたが、搭乗前の丁寧な説明や、安定した操縦で、安心して空からの景色を楽しむことができました。また、搭乗体験を通して、陸上自衛隊についても学ぶことができました。陸上自衛隊には様々な職種があり、そのうちの一つが、ヘリコプター等を扱う航空科です。災害時の人命救助はもちろん、東日本大震災の際には原子力発電所へ空中からの放水を行うなど、様々な場所で活躍しています。

この体験を通して、私は、私たちの安全を守る自衛隊という存在に敬意を示し、これからも応援していきたいと感じました。

最後になりますが、ＣＡＴＹでは、毎週火曜日と木曜日、夜7時からＦＭＧＳｋｙにて番組を放送しています。チャンネルを77・9メガヘルツに合わせて、ぜひお聴きください。（国文学科2年／岩崎友香）

国文学科卒業論文発表会

◇日時　12月18日(土)　15時～18時
◇場所　本学４０２教室
◇内容　伝承文学・中古文学・近現代文学・中国文学・神道学・歴史学・教育学等に関する卒業論文の口頭発表会
◇参加費無料